

発行者：国土交通省 東北地方整備局 能代河川国道事務所 森吉山ダム管理支所
〒018-4512 秋田県北秋田市根森田字姫ヶ岱31 TEL:0186-60-7231 FAX:0186-60-7232
http://www.thr.mlit.go.jp/noshiro/

寒さ厳しい冬でも あたたかい！？ 森吉山ダム監査廊

森吉山ダムの堤体内部には監査廊(かんさろう)と呼ばれる管理用の通路があります。全てを合わせた延長は、なんと1km以上。ダムの検査、点検、測定やダム堤体にしみ込んできた水の排水などに用いられ、トンネルの形状をしています。

年間を通じて気温は14℃前後と一定しています。洞窟のように、外気温の影響を受けることが少ないためです。そのため、夏はひんやりと涼しく、寒さ厳しい冬は暖かく感じる場所です。冬に厚着をして、そのまま監査廊を歩くと汗ばんでしまうくらいです。

監査廊の中には地震計や色々な観測機器があり、それらの情報はダム管理支所内で監視しています。

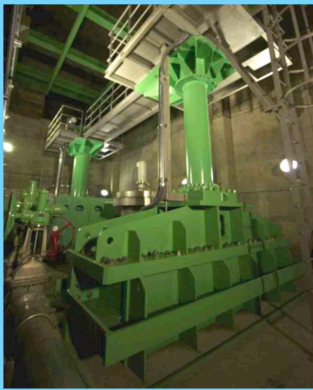
その他にもダムの地下には様々な施設があります。地下60mへ続いているエレベーター機械室。そこから、放流ゲート室、管理用発電機室、浸透流観測室の4箇所を今回は紹介したいと思います。



森吉山ダム 監査廊MAP

②【放流ゲート室】 ↓

渇水などでダム下流河川の水量を確保する必要がある場合や、緊急的にダムの水位を下げる場合などに使用する放流設備です。最大で毎秒100トンの水を流すことができます。



①【エレベーター機械室】 →

上の写真の旗が立っているところです。昇降距離(1階～B1階)約60m。昇降スピード 毎分60m。20人乗りのエレベーターで1分かけて降りていきます。エレベーターを使わずに階段で降りていく事もあります。



③【管理用発電機室】 ↓

ダム貯水の落差を利用して、水力発電を行っている設備です。発電能力は最大470kwで、発生した電力はダムの管理設備に使用しています。



④【浸透流観測室】 ↓

監査廊で最も低い位置にあるのが、ほぼ中央に位置する浸透流観測室です。ここでは、ダムにしみ込んできた水の量を測定しており、ある程度溜まるとポンプを使って外へ排出(下段写真右)しています。

ダム内部を6ブロックに分け計測しています→



四季美湖 折々

1月15日 純白の湖面

森吉四季美湖にも薄い氷が張り、前日の雪で湖面が真っ白になっています。

取水塔周辺の凍っていない所では、20羽程のカモが身を寄せ合って寒さをしのぐ姿が見られました。



【お問い合わせ先】 森吉山ダム管理支所 電話：0186-60-7231 広報館 冬期休業(12月～3月)しています。